

# 子ども英会話教室



## 5月12日 Let's Play in English



第700号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (6月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,330人  
 女 3,356人  
 総人口 6,686人  
 世帯数 2,155戸

五月十六日に今年度第一回目の公民館学習会が開催されました。今年度百五十八名のみなさまが申し込まれ、当日は、百二十四名のみなさまが出席され熱心に受講されました。

開講式では原健治・高齢者クラブ連合会長より、学習すること、大いに笑うことが元気で長生きの秘訣、学習を深めて日々の生活を豊かに過ごしてほしいとの祝辞をいただきました。

第一回目の講師は、学習会ではお馴染みの手話ダンスアーティスト「M.I.W.A」こと、深澤美和先生です。この日は、美和先生が指導されている手話ダンスクラブのみなさまもダンスを披露してくださいました。

みなさんは手話ダンスと聞いてどのような踊りを想像されますか。簡単に言ってしまうと手話を取り入れたダンスですが、初めて観させていただき、その歌に

込めた想い、身体、しぐさ、動き、顔の表情、指の先まで表現され受講者のみなさまも見入っていました。森山直太郎の「さくら」、一青窈の「ハナミズキ」を曲に合わせて踊っていただきましたが、その歌詞の情景がみえてきます。音の無い世界で目からしか入ってこないものを感じ取る時、美和先生の表現は見る人に感動を覚えさせるものだとわかりました。

また、比較的簡単な手話も教えていただきました。時代と共に手話での表し方も違ってきております。特に顕著なのが「電話」です。受話器を持つしぐさから携帯電話、スマートフォンと特徴を掴んだ手振りが手話へととなります。

最後に全員で「四季のうた」を、手話をしながら歌い締めくくりました。

受講者の方で手話ダンスを覚えたいという声がありました。数名いらっしゃるればグループとしての活動に繋がっていきそうです。興味のある方は公民館まで一報ください。

(公民館 松村)



最近、バケツのまわりを拭く事件が私の身に起きた。床をぞうきんで水拭きした時、バケツの周りに飛び散った水を拭いてほしかったので、一緒にいた子どもに「バケツのまわりを拭いてくれる？」と頼んだ。

数分後床を見ても水はそのまま。子どもを呼んでなぜ頼んだことをしないのか聞くと、「きちんと拭いたよ」との答え。よくよく聞くと彼は、バケツ本体の外側をきれいにぞうきんでぬぐっていた。笑って力が抜けた。

これではまるであの落語のようではないか。梯子の上の男が大きな壺を下へ降ろす時、下にいる男に「いか、落とさないようにけつをしっかりおさえろ」と言ったのだが、下の男は自分のけつをしっかりおさえており、結局壺は割れてしまったという。

言葉のあやというのか、そんなつもりで伝えたのではないというのか、本当に伝え方には工夫がいる。壊したくないものにこそ伝え方の工夫や相手を想う心が必要なのだ。

ちなみに冒頭の子どもには、理由を説明して言い直した。落語を思い出さないよう真剣な顔で、「床に水があると滑って危ないからバケツの周りの床を拭いてね」。

梯子の上の彼は何と言えどもよかったのだろうか。親しみをもちつつ思う。

(小池淳子)

# 文化の香り高い豊丘村

## 公民館学習会 開講



学習指導要領の改訂により小学校の英語教育が令和二年度から本格化されます。学校教育を補完し、自然と英語に親しみ、英語が苦手にならない子どもたちの育成を目指して小学校一年生〜四年生を対象とした遊び感覚で英語を学べる教室を開きました。

今後開催しますのでぜひご参加ください。

五月十二日(日)に「Let's Play in English」という子ども英会話教室が初めてゆめあそびで行われました。二人の教師(ビル、ナイジェルさん)と四人のサポーターと三十一人の小学生と一緒に英語で遊びました。自己紹介ゲームでは、生徒がお互い英語で自己紹介をしま

楽しく学ぼう  
 ビル・オコナー

五月十二日(日)に「Let's Play in English」という子ども英会話教室が初めてゆめあそびで行われました。二人の教師(ビル、ナイジェルさん)と四人のサポーターと三十一人の小学生と一緒に英語で遊びました。自己紹介ゲームでは、生徒がお互い英語で自己紹介をしま

### 参加者の声

初めははさしかかったけれど、名前を言いながらボールをパスするゲームが楽しかった。

(南小一年生)

いろいろなゲームがあつて楽しかった。手を挙げて英語が言えてよかった。

(南小一年生)

難しかった。

これぞジェスチャーで動物の名前を覚えられたよ。

(北小二年生)



家の人に誘われて来た。特に走る、飛ぶのゲームが楽しかった。次も来たい。

(南小三年生)

友だちに誘われて来た。体を動かすゲームが楽しい。

(北小四年生)

自分であつて、生徒さん達も始めは緊張していましたが、ゲームが進むにしたがつて緊張がほぐれてゆき、楽しく英語を学ぶことができました。

一回目ということで、生徒さん達も始めは緊張していましたが、ゲームが進むにしたがつて緊張がほぐれてゆき、楽しく英語を学ぶことができました。

次回は七月二十一日(日)を予定しております。たくさんの方の参加をお待ちしております！

# 村議会議員へのアンケート

# 新時代の豊丘村をどうにする

今日十二日午後発生した短時間集中豪雨と降雹は、果樹や野菜を中心にダメージを与えており、農家は防除対策などに追われています。さて、四月に行われた統一地方選において、村長、村議会議員選挙が行われ、それぞれ無投票で当選が決まりました。村民の負託に応えて四年間の活躍を期待します。館報編集委員会では当選された十四人の議員の皆さんに村づくりの抱負をお聞きしました（立候補届出順）。



唐澤 健 市ノ沢(日本共産党)72歳

Q1 人口減少社会にあって、協働出来るものを増やしていく。

Q2 誰もが自立し、生活できる社会環境を整える。

Q1 北部五町村と飯田市が一つの生活圈と考えられる。その中で、豊丘村は独自の政策が実現できる。

Q2 自己責任と言わない、リスペクトし合う社会にするための努力をしていきます。

Q3 議論する議会、提案できる人材を求めるためには、現状維持。



川野孝子 中芝(無所属)76歳

Q1 豊丘村の良いところは地域力がしつかりあるところだといつも感じている。自分が本当にうれしい時、困っている時、その声

Q2 これからの豊丘村をどうしたいか。四年間の取り組みの中でこの課題が最も大きい。

Q1 豊丘村の良いところは地域力がしつかりあるところだといつも感じている。自分が本当にうれしい時、困っている時、その声

Q2 これからの豊丘村をどうしたいか。四年間の取り組みの中でこの課題が最も大きい。



平澤恒雄 小園(公明党)64歳

Q1 ある時、私が豊丘村について「竜西と比べると国道も鉄道も無く、信号機は一個だけ(かつては田村交差点のみ)の、遅れた

Q2 リニア新幹線や、三遠南信道が開通すると、短時間で都市とつながります。都市住民が求め

Q3 議員定数は高森・松川が十四人、喬木が十二人です。行政規模のバランスを考えると、豊丘十四人は多いという印象です。



片桐忠彦 大柏(無所属)65歳

Q1 村内には、都会の方が求めているような、自然や環境が多くあり、それが良い所と考えます。それらを、多様なニーズに答える

Q2 村民が安心安全に末永く、そこに住み続けられる村になれば

Q3 議員定数で何人が適正かとの



壬生真由美 壬生沢西(無所属)59歳

Q1・Q2・Q3 豊丘村は、天竜川を望む西に開けた段丘と背後の豊かな森林に抱かれ、谷川や湧き水に育まれた農村です。季節の移ろいを

Q1 知らせてくれる林の木々、田んぼや畑、果樹園が見せる景観は農作業の苦勞と愛情が滲み出ています。

Q2 暮らす村。一人の重みが違う。役場の存在が身近。そして、ゆめあるで展開する住民グループの活動の幅広いこと！ 都会とは違う時間の流れ方と空間が豊丘にはある。

Q3 無投票当選の一年生議員で、審議経験回数が僅かではありましたが、様々な角度からの意見と議論は必要だと感じています。議員定数は現状、あるいはもっと多くても良いと思います。また、村政への住民参画の方法を工夫することも併せて必要なことだと思います。



唐澤克己 木門(無所属)75歳

Q1 豊丘村の利点は、集落の背後に広大な山林があり、生きるに不可欠な空気や水を供給してく

Q2 林も近年荒廃が進み、災害の発生が危惧されるだけでなく、温暖化が進行する一因にもなっております。手入れされた山林には緑が豊かに茂り、その緑のおかげで炭酸同化作用が活発化し、二酸化炭素が吸収されて、きれいな空気すなわち酸素が排出されています。地球的規模で進行している温暖化の要因は、この村においても発生しているのです。そ

Q3 関係機関に協力を得て解決策を模索したいと思います。物事はすべて、どこに視点を置くかで見方が全く変わってきます。議員定数も全く同じです。県内の人口が同規模の町村と比較に焦点を合わせると二名ほど多いと思っております。

## 質問

Q1 あなたが考える豊丘村の良いところは？ それをどのように守り、発展させていきますか？

Q2 未来の豊丘村をどうしたいですか？ そのために、どう行動しますか？

Q3 豊丘村議会の議員定数は、何人が適正だと思いますか？

と考えます。村議会の広報にも問いですが、議論するには一委員書きましたが、「すべての安心安全委員七人位は必要ではないかと全地域コミュニティから」とおっしゃる専門家もおられます。考えます。地域のつながりを作る活動を進め、生活環境、農業環境、防災減災等、安心安全に繋げる活動が出来ればと考えます。

ただ、いま議員が何人いれば大丈夫かと聞かれれば、十人いれば良いのではと感じます。



滝川利秋 市ノ沢(無所属)64歳

Q1 農村であること。勤勉であること。手の入った農地や、地形が織りなす豊かな田園風景。まず農業を振興すること。それが回りまわって、他産業を含

め、すべての住民のくらしの向上につながるから。 農村を守る。 今後ますます農業を守っていくことが、むずかしい時代になってくると予想される。つまり農村のよさを維持できない困難な時代。 拝金主義の時代の中であって、価値観を含め、意識して農業・

Q2 十四人。議会内で検討を重ね、住民との研究会を開催し、最後に三月議会で定数十四人と議決した。正規のルール、場を踏んで、自らの仕事の体験を通じて出した結論。 農村を守る取り組みを具体的に実践したい。



武田篤子 中宮(無所属)59歳

Q1 自然豊かな、そして果物、野菜、米等が美味しい村。そして子育て支援に厚い村であると思います。竜神大橋やリニア開通

により都会や近隣町村とのアクセスが良くなります。自然豊かな子育てに厚い村として移住促進に力を入れていきたい。オーナー、観光などで村を訪れる方々に、何度も村に足を運んでもらえるよう考えていく。ふるさと納税をして頂いている方々にも豊丘祭りや村、地域の行事へ参加してもらい、村に活気をつ

けてもらう。第二のふるさとと位置づけて貰えるようにしていきたい。六次産業の拠点である道の駅を活用した儲かる農業、魅力ある農業を目指し農業政策の充実、新規担い手作り等により農業を守っていく。また、子供達には、豊丘の魅力、また村の良さに気付き発信出来るような機会を作っていきたい。

Q2 高齢化が加速する中、お年寄りが安心して暮らしていける村作りを提案していきたい。一人暮らしの方が助け合いながら生活出来る場所が地域に出来ないか模索していきたい。 議員定数については、近隣町村を参考に、議会内で検討していきたいと思っています。



前沢光昭 中部三(日本共産党)60歳

Q1 豊丘村の良い所はよく言われるように、緑豊かな環境だと思っています。 長野県の特徴、特に南信は南

アルプスを背景に雄大な景色です。近くにいると見えますが、この環境を守り続けること、そのため必要なことはそこに住み続けることです。 一般論ですがそこに住み続けられる地域づくりです。 豊丘ばかりでなく、自分達、住民が幸せに暮らせることだと

Q2 思います。まず皆が健康に暮らしていけるようにすること。そのためには医療・福祉の充実は大変なことだと思います。 相変わらず村民のくらしは大変ですが、農業、自営業者のくらしを守ることも重要課題。そのため調査研究もしたい。

Q3 議会議員定数については一人でも多い方がいいことは言うまでもない。 現状十四人は住民を含めて研究・検討し議決された結果であり、現時点では十四人を守るべき。 いま全国的な「成り手不足」は深刻な課題であり、定数を下げたからといって解決する問題ではない。



井原康明 林里二(無所属)73歳

Q1 自然豊かな農村は勿論ですが、何より私達の生活する上での生活環境の良さだと思います。少子高齢化が進む中、住んでよかつ

た村・住みたい村へと向け、防災面や地域社会福祉事業など、さまざまな事業の取り組みが毎年行われています。これらの内容は、他町村と比較しても決して劣るものではないと思っています。 この様な取り組みのもと、私たちの生命、財産が守られ、穏やかな日々を送れていることと実感します。 これらの取組みを後退させる

Q2 リニア、三遠南信道の開通を控え、当村に於いても生活環境が変化すると思えるが、議会としても、村民の方々が安心して暮らせる様、多くの村民や団体

Q3 実際の議員は六名の所もあります。村で議員はその議会が構成する組織でどれだけ公正で十分な審議が出来るかであり、現状の議会構成であれば十二〜十四人。



片桐義憲 下佐原(無所属)65歳

Q1 今日まで、先輩方の努力や気候、風土により、産業、文化、人情が培われてきた。私の生き様の礎となっている。有り難く、

幸せと感じている。 生え抜きの私には、目前に迫るアルプスや急峻な地形、また豊富な果物、松茸、山菜狩りは、極当たり前であるが、来村者のそれらの体験は、大きな感動であるとお聞きする。リピーター数も増え大変有難い事と思う。また定住された若者からは、教育や子育てしやすい村との評価を受けている。 今後も、自然と共存、調和の

Q2 リニア新時代が目前に迫る中、早急な取り組み対応を図らなければならぬ。六次産業化を軸とし、経済、文化、住民福祉、観光、都市交流、新戦略の構築が必要である。未来の村の姿を大きく左右する為、行政に若者が参画しやすい環境整備や地区計画への

Q3 昨年十二月の定例会で、五人の仲間と、議員定数削減条例改正案を提出したが賛同が得られなかった。 同一規模の自治体では少数精鋭での努力が続いている。頭の下がる思いである。十名から十二名程度でも、議会は成り立つと思われる。



松下 亨 中平(無所属)72歳

Q1 日本一の河岸段丘。 全村民による共通認識の上で、企業・大学の研究施設や保養施設等の誘致をしたい。

Q2 また、優良農地は後継者やUターン就農者が希望をもって就農できる環境を打ち出したい。 維持管理が課題となっている段丘斜面は、助成内容を充実した上で、所有者や地域住民の主体的な取り組みで環境改善をする必要があると思います。 そのためには、主権者教育を始めとした人材育成を進めたい。

Q3 今回の選挙結果等を踏まえ、更なる議会改革を行いたい。次期改選前にそれに対する村民評価で結論を出したい。



吉川明博 小園(無所属)64歳

Q1 騒音が少なく静かなこと、山や空の景色が良い、四季が豊かに変化すること、作物が豊かなこと、平和主義者が多い。

Q2 変わりそうになることに関心を持ち、村にお住まいの皆様と協力して知恵と力を出し合って復旧・改良・維持する。

Q3 社会文教常任委員会と総務産経常任委員会を各六人で構成し、委員外の議員も質疑ができ討論と結審は委員だけで行うなど、審議方法を変えることで十二人にする事ができる。 二期八年の経験で、五人以下で審議しても十分な調査・審査にならないと感じている。(公民館報で何人が適正か、理由



下平豊久 南市場(無所属)81歳

Q1 豊丘村の良さは、豊かな緑と清流に包まれた自然環境と各地に点在する獅子舞や神楽など民俗芸能だと思います。 リニア新幹線や三遠南信道の

Q2 開通を手掛かりにして里山や農村風景に溶け込める体験型・滞在型の人的交流の促進を図り、遊休農地を活用した観光農業等で豊丘村の活性化と若者の村内への定住を進めたいと思っています。

Q3 農家レストラン等への、農産物生産者による供給体制の確立をすすめる。 豊丘村のさらなる発展には働く場の確保が必要です。 そのためには企業誘致の促進は欠かせません。 農・商・工のバランスのとれた村創りが必要です。

Q4 豊丘村議会の定数は、昨年十

# 村長・村議選を終えて（二）

四年に一度の村長・村議選は、どちらも無投票で決着しました。公民館ではこのことについて村民のみなさんがどのように感じているのか、アンケートを行いました。集まった声を二回にわたり掲載します。これをきっかけに村政について考えてみてください。

## 二十代 男性（神穂）

県議選は緊迫したのに、村議選が無投票であったのは残念だ。投票しなかった。また、誰が立候補したかは、十三と十四番目の候補者はポスターが貼られておらず、私たちに分からない。議員の数を減らしてもいいのではないかと思う。

## 三十代 男性（河野）

豊丘村議会議員の定数十四は人口比で見ると、他の自治体と比べて多いと思うので、減らしてもいいのではないか。告示当日、立

候補者数の様子を見て届出をした候補者がいたが、定数に合わせようとしたように見える。

役場に対しての影響力は各区の区長や土木委員の力が強く、議会の力は弱まっているように感じる。

議会の活動が村民に興味を持ってもらえるよう、努力してほしい。

## 三十代 女性（河野）

無投票で決まったことは楽であったが、これでは候補者の方針、人柄を知ることができず活性化しない。新入りがいたので尚更だ。やはり議員定数が多いのだ。村政に期待することは、地元育ちの人が地元に戻って来られる環境を整え、村民の声を拾っていくことだ。

## 四十代 女性（河野）

村長、村議会議員には、ふさわしい人がいてその人がなってくれればいいと思

いました。でも、選挙にならなくて、村政についてあまり議論にならなかったのは問題だと思います。

豊丘では、子供の教育費の一部負担などの補助は助かっています。これからも続けて頂ければ嬉しいです。

## 六十代 男性（神穂）

無投票は議会への関心を低くする。定数を削減していったら選挙になつていいかもしれない。また、ポスターを貼らない人がいたが、いかなるものか。何のための掲示板か。顔も見えず、公約も分からずでは、議会改革は遠のくばかりである。

## 六十代 男性（神穂）

非常に盛りあがらなかった村議選だった。いつもなら定数ぎりぎりでも、掲示板には立候補者の顔ぶれが並び、意欲満々の表情がやぶらばらに見えており、この顔

ぶれが村の事を考え未来を造るのかと、頼もしく感じるのだが、今回は様子を伺いながら候補者が節約する姿にがっかりした。早々と選挙カーであいさつをする候補者には、頑張つて！と応援する気持ちになった。どんな人達が立候補して、何をうったえるのか、今後はこれらの意欲が見える選挙になつてほしい。

## 六十代 女性（神穂）

村にはいくつもの進行途中の事業がありますが、優先順位によって真先に審議しなければならぬものも多くあると思います。少子化に伴い子ども数が少なくなつても、子育ては若い両親には一番先に考えて欲しい。働き盛りの中堅の人にとつてみれば、地域環境や職場での働きやすさなども大切です。退職された方は今でも現役で働けるのに仕事を上げられたと考える人もいます。全部を最初から完全にすることは不可能ですから、知恵を絞ってしなければならぬ事業を確実に形にすることを実

践して頂きたいです。

## 八十代 男性（神穂）

今年選挙の年、しかし豊丘村では投票できなかった。投票できなくても当選すれば民意（村民の信任）は得たことになる。選挙が無ければ時間も費用も節約できる。しかし「立候補者がいないからこれで良いんだ」では困る。なぜ立候補者が少ないのか、その原因究明、対策を考えなければ、民主主義は民主主義ではなくなる。その原因対策を考えるのも当選者の大切な義務と考える。

# 俳句 短歌

夏嵐乙女の項裏やかに  
ひとひらの雲の遊行花の昼  
緑さす令和の空へ友遊けり  
野の花と山吹ひと枝さき母に  
懐メロに夏の一日酔いしれる  
石楠花のけなげさまるる雨の庭  
松坪や先祖にわびる山の畑  
木曾仔馬乳を吸ひてはまどろみぬ  
高遠のさくら無念のいろ遺す  
禁鳥どこもかしこも大草城  
白藤の走根あらわ落城址  
鯉のぼり城址の空を荒泳ぎ  
余花すべて日にあづけるて井月碑

磯部セツ子  
田中 静  
片桐 洋子  
森田 恵子  
三島 保子  
三島 里子  
木下 眞水  
松岡 照子  
宮下 公  
宮下 純子  
林 恵美子  
丸山 時子  
北原 昭子

# なつめい

## 第26記 梅雨を前に色重なり 咲き誇る高貴な花たち



2006年6月に咲きほこった様子

季節のシヨウブもとても美しいものだ。当時この花園を管理する唐沢さんご夫妻とも仲良くなり、定年後には佐原を別荘代わりに通い、花の手入れを楽しむにしている。日々が続いたという。趣味で始めた花栽培にも相当な苦労がつきものだったそうだ。園内にはシヨウブをはじめアジサイやスイレンとハスの花も咲き揃っており、畑一面に咲く花を見ながらカメラを手に半日は楽しめる場所となつていた。シヨウブには艶やかな色彩の花は少なく、紫

# 豊丘の自然



～シリーズ～  
No.186  
ジネズミ  
(食虫目・トガリネズミ科)

今月はジネズミを紹介する。名前にネズミとあるから、ネズミの仲間（ゲツ歯目・ネズミ科）と思うかもしれないが、そうではなく前号で紹介したヒミズに近い。正確に書くと食虫目・トガリネズミ科でモグラの仲間である。飯田・下伊那には三種（ト

ガリネズミ・カワネズミ・ジネズミ）が生息している。そんな訳で、モグラの仲間は二目三科八種。ちなみにネズミの仲間は、ゲツ歯目・ネズミ科で、ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミ、アカネズミ、ヒメネズミ、ヤチネズミ、カゲネズミ、ハタネズミ、それに前々号で紹介したカヤネズミの九種。機会があったら紹介しようと思つている。



写真／文 宮下正弘

### （豊丘村川柳クラブ豊柳会）

▼課題「迷」 久保ひろし 選

欲を捨て肩の荷おろし迷い減る 林 もも子  
晩年になつても迷路抜け出せず 桃沢 健介  
迷わずに貫き通しつかむ幸 福沢 勝美  
軸吟：迷つても最後は儘よと采を振る

▼課題「素」 互 選

戦時食糧食に耐えて素造り 安田 喜子  
年重ね素直に生きる心境に 山本 義彦  
一徹も孫に素直な爺となる 西元 峯子

▼自由吟 福沢勝美 選

あつさり村議が決まる十四人 原 美風  
捨てがたい昭和の過去の联系 市沢 照子  
ベランダに鯉が泳いで核家族 久保ひろし  
軸吟：戦無き事を願うや令和の世

（お詫びと訂正）  
五月号第六九九号三面の公民館 正しくは、七分館の分館体育部長 役職員紹介に誤りがありました。 代表は高田浩紀さん、分館図 書部長代表は木下幹夫さんで した。お詫びして訂正いたします。

（とよおか短歌会）  
軒先に戻りし燕巣造りす新築もありリフォームもあり  
壬生 千春  
五月晴れ幟はためく道の駅とよおかマルシェの周年祝い  
大倉 知江  
仰ぎ見る庭の老松常盤なる令和の御代もすこやかにらむ  
毛涯百合子  
二十度を越えては受粉出来ぬとうきくらんぼの知られざる機微  
福澤貴美恵  
ハウスでは十色の野菜が日々待てりこは私の生き甲斐の場所  
筒井 恵子  
ムスカリの花言葉知り驚きぬどこか野蒜に似たたたかさ  
北澤 秀子  
うぐいすと爽やかな風に包まれてりんごの花摘む河岸段丘  
大原真由美  
十連休帰省の息子が手伝いし野菜畑の風除け行灯  
松尾ヒサコ  
妻と観るしだれ櫻に角館ふるき武家屋敷を愛でつつ巡る  
松下 泰見  
柔らかき箭の皮三角に折りて紫蘇汁吸ひし幼日  
福澤 亀人